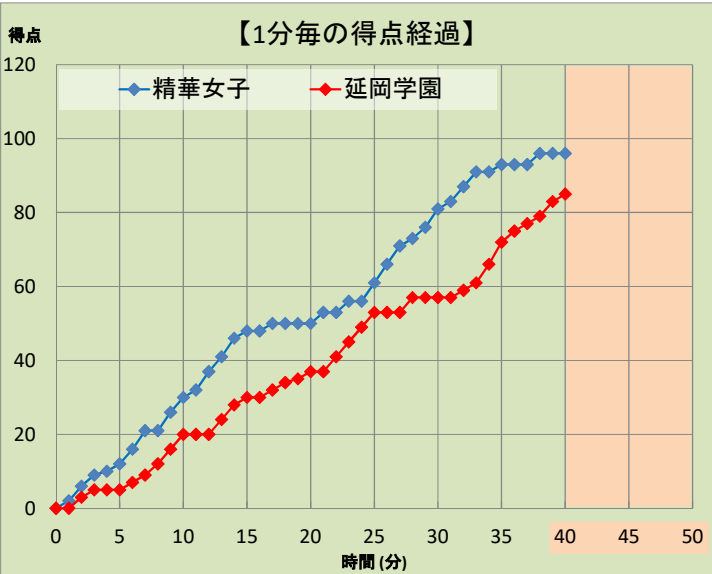


第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館		
日時	平成31年3月24日	(日)	9:00
コート	Aコート	第1試合	
カテゴリー	女子	準決勝	
主審	紀伊 孝哉		
第1副審	西村 かおり		
第2副審	仲間 芳幸		

TEAM A		TEAM B	
精華女子	96	85	延岡学園
福岡1位			宮崎1位
○			●

【BOXスコア】

TEAM A		精華女子高等学校					
番号	選手名		得点	3P	2P	FT	反則
4	樋口 鈴乃	◎	23	2	7	3	2
5	屋宜 沙弥香		0				
6	木村 瑞希	○	19		9	1	5
7	三浦 舞華	○	31	3	8	6	1
8	吉原 陽世		2		1		2
9	嵐 夏妃		0				1
10	仲真 華子		0				1
11	齊藤 風香	○	9	1	3		1
12	日高 ひかる		0				
13	徳永 夏		3	1			
14	中園 陽菜乃	○	9	1	3		1
15	高木 愛華		0				
16	岡田 ひまわり		0				
17	野田 みどか		0				
18	倉掛 日和		0				
コーチ	大上晴司						
合 計			96	8	31	10	14

TEAM B		延岡学園高等学校					
番号	選手名		得点	3P	2P	FT	反則
4	佐藤 亜美		3		1	1	3
5	デンベル サナタ		0				
6	谷ノ口 陽菜		0				
7	笹栗 圭夏	◎	0				
8	甲斐 心温	○	0				
9	岩切 陽菜		2		1		1
10	慎野 綾乃	○	13	1	4	2	
11	柳田 蘭		0				
12	河野 すみれ		0				
13	塩月 絢音	○	6	2			4
14	西野 彩音		2		1		2
15	ムボムボ ムロロ ファーロン	○	59		26	7	3
16	黒木 江美里		0				
17	上野 瑞綺		0				
18	米倉 菖乃		0				
コーチ	内村 昌弘						
合 計			85	3	33	10	13

【戦評】

全九州大会準決勝、福岡県1位精華女子対宮崎県1位延岡学園との対戦、精華女子#4、#6、#7、#11、#14、延岡学園#7、#8、#10、#13、#15のスターティングメンバーで試合開始。第1Q、精華は#4#11のジャンプシュートで4点先制、延岡学園は#15のフリースローとゴール下で3点を返す。序盤、延岡学園#15がインサイドでポジションを取ろうとするが、精華#6が体を張ってこれを阻止。4分半、14対5とリードされたところで延岡学園最初のタイムアウト。7分、精華#6が2つ目のパーソナルファウルを取られ交代すると延岡学園はインサイドの#15にボールを集める。一方精華は#7の2本の3ptsなどで30対20とリードして第1Q終了。第2Q、精華は#7の1on1、3ptsなどでリードを広げるが、7分半、#6が4つ目のファウルをコールされ交代。この後、延岡学園追い上げを見せるも、50対37と精華がリードを保ち前半終了。第3Q、精華#6はベンチスタート。精華は#11の3ptsで後半最初のスコアを上げるが、延岡学園はインサイドの#15にボールを集めペースを掴む。4分、56対49と追い上げられ精華タイムアウト。ここで#6がコートに戻ると流れは精華へ。激しいディフェンスからの速攻と#4の2本の3ptsで得点を重ね、81対57で第3Q終了。第4Q、開始早々精華#4がジャンプシュート2本連続で沈める。4分、精華#6がファウルアウト。直後、延岡学園は#13、#10の連続3ptsで追い上げ、#15もインサイドで存在感を見せるが、96対85で試合終了。チームディフェンスで決勝に駒を進めた精華女子にあと一步及ばなかったが、延岡学園の健闘も称えたい。

【戦評記者】 三好 洋一郎
福岡県バスケットボール協会